

試験で使える小技

～ 高齢者の加齢変化は「悪い表現」＝「○(適切)」と捉える！～

=====
高齢者の心身状態の変化を個々にみていくと、加齢を重ねるごとに悪くなるものが多いです。加齢の影響を受けずに維持するものもありますが、その数は少なく、若年者よりも優れるというものはまずないでしょう。

★★★

このことから、試験で出題される場合も、その内容が心身状態の悪化につながるものが「○(適切)」となる確率が非常に高くなっています。「～が悪くなる」「～は悪化する」といった表現はほぼ適切になる可能性が高いといえます。次いで「～が低下する」「～が減少する」といったマイナス的な表現も、適切になる可能性が高いといえます。しかし、中には「上昇する」「増加する」ことが悪化につながるものもあるので注意しましょう。

★★★

高齢者の心身機能は、血圧、関節、知能、骨、視覚など、項目数がとても多く、すべてを覚えるのはほぼほぼ困難です。ですから、試験で出題された場合には、若い時よりも悪くなっているものが「○(適切)」と単純に捉えて解答しても問題ないでしょう。仮に若い時よりも悪くなっているものが複数ある場合には、維持されるものが含まれていると捉えて、その観点から正誤判断をすると良いと思います。

★★★

なお、維持されるものは、それほど数が多くないので、色々な資格試験の過去問からピックアップして覚えておくことも必要な作業だといえます。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku_boboya

 fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

